

1月17日活動報告会

活動報告

地域課題の抽出と解決に向けて



栗山地域 集落支援員

林 千緒 (はやし ちお)

自己紹介



今年は湯西川の山を覚えるべく、週末は鉄砲背負って山奥へ…

令和元年～

地域おこし協力隊(任期:5年)
伝統野菜の普及や、岩芝民芸(イジッコ)の技術継承などを行う他、高齢者向けの健康教室やものづくり教室などを定期的で開催。

➔ 『集まる場づくり』

令和6年～

今年2年目

集落支援員として着任

昨年は地域全体の『集まる場づくり』を行っていましたが。今年は+αとして、集落(自治会)ごとの状況把握や課題抽出を行っています。

なぜ『集まる場づくり』なのか



栗山地域は、山奥の不便な地域だからこそ

地域の結束が強く

「助け合い精神」が根付いています。



皆で楽しく交流し、**地域と繋がる場を** ⇒ **助け合う力を強化**

くろべ茶屋を地域全体の『集まる場』にして3年。徐々にパワーアップ！

1
空き施設の
有効利用



2
お茶飲み会
がメイン



運動や講座はなし！

3
パンの移動販売など
“何か”を購入できる機会の創出



4
会場までの送迎



日光市社会福祉協議会の
送迎ボランティアを活用。

くろべ茶屋を使った地域の『集まる場』づくり



すかいパーカーのパン販売



キッチンカー(5~7月)



移動洋服屋さんと県警による
運転シミュレーター体験(8月)



栗山出身者によるシフォンケーキ販売



鹿革アクセサリー販売(地元作家)



地元野菜の販売(誰でも出店可能)

月1回(5月~11月まで)

9月~11月はフリーマーケットを開催。
地元の方の出店(出品)をメインに…

くろべ茶屋を使った地域の『集まる場』づくり



* 参加者は、**20名～60名** 程度（地域の状況で変わる）

* 地域の方の出店(出品)も多くなり、

地域の『お楽しみイベント』

として定着



今後、『集まる場』づくりは継続するが、
次の“地域課題”に向けて、動き出すことに。

地域課題って？



集落支援員が
事務局を務める

まちづくり協議会は、

『**地域課題**を住民同士で解決する』
ために設立された組織



栗山地域
まちづくり協議会

栗山地域の具体的な『**地域課題**』ってなんだろう？

交通・買い物問題 はあるけれど、それ以外の課題は？

そういえば集落支援員って

地域課題を探る人材 だったような…



|(基本に戻って)集落支援員って？



地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウを有する人材が、**集落の巡回・状況の把握**、これらを通じ必要とされた具体的な取組やその取組主体となる**地域運営組織**などのサポートを行う。

必須業務

■ 集落点検の実施

市町村職員と協力し、住民とともに集落点検を実施

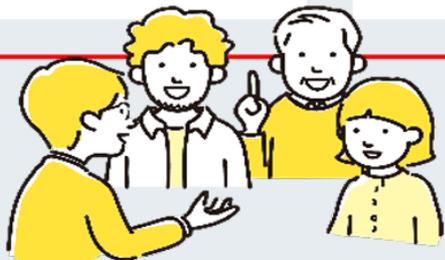
■ 集落のあり方についての話し合い促進

「集落点検」の結果を活用し、住民と住民、住民と市町村との間で集落の現状、課題、あるべき姿等についての話し合いを促進

集落支援員の活動イメージ

□ 集落の維持・活性化に向けた取組や取組主体となる地域運営組織などのサポート

- ① デマンド交通システムなど地域交通の確保
- ② 都市から地方への移住・交流の推進、
- ③ 特産品を生かした地域おこし、
- ④ 高齢者見守りサービスの実施、
- ⑤ 伝統文化継承、
- ⑥ 集落の自主的活動への支援 等

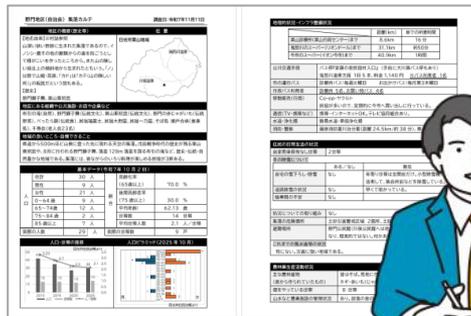


※ 集落支援員は、地方自治体からの委嘱を受け、市町村職員と連携して活動

集落点検とは？



地域の現状や課題を把握 し、
今後の維持・活性化策を検討・計画する ための取り組み



自治会長ヒアリング

集落カルテ

自治会長や民生委員から聞き取りを行い、『集落カルテ』を自治会ごとに作成。(地域の基礎データ集)



住民ワークショップ

集落の課題を住民で共有し
集落のこれから『集落ビジョン』を考える。

集落点検から抽出された“集落の問題”を、地域運営組織(まち協)が取り組む。

各地区の基礎データ(現状)は？



栗山地域でも状況は様々。
自治会単位での調査が必要。

若者(旅館従業員)が多いが、実際は
昔からの住民の高齢化率は非常に高い。

川俣温泉地区の基礎データ

(令和7年4月現在)

高齢化率 (65歳以上)	39.3	%
後期高齢者率 (75歳以上)	23.2	%
平均年齢	63.4	歳
人口	56	人
世帯数	41	世帯

もっとも高齢化率が高い地区。
今は元気な人が多いが、、

青柳平自治会の基礎データ

(令和7年4月現在)

高齢化率 (65歳以上)	92.3	%
後期高齢者率 (75歳以上)	50.0	%
平均年齢	75.4	歳
人口	26	人
世帯数	16	世帯

※日光市年齢別人口統計表より

↑ 日光市高齢化集落対策実施計画の対象外地区

ヒアリングをまとめた『集落カルテ』は



集落カルテ

栗山地域(日光市) 集落カルテ	調査日 令和7年1月13日
【調査対象地域】	栗山地域
【調査目的】	栗山地域に暮らす住民の生活実態を把握し、ヒアリングを通じて課題を抽出し、今後のまちづくり活動に活用する。
【調査方法】	ヒアリング(住民説明会、個別訪問)とアンケート調査。
【調査結果】	栗山地域には約1,100世帯、約2,500人が住んでいる。高齢化が進んでおり、子育て世代の減少が顕著である。また、地域活動の活性化が課題として挙げられている。
【今後の課題】	高齢者の生活支援、子育て世代の受け皿づくり、地域活動の活性化など。

* 栗山地域を知らない人でも実況が把握ができ、『課題』が明確にわかるもの。

* 実際に住んでいる人数や世帯数の他、週末に戻ってくる『親密別居者(関係人口)』など、集落に関わる人はすべて把握する。

* 関連機関へ 情報を共有

- 栗山地域まちづくり協議会
- 社会福祉協議会・包括支援センターなど
関係機関へ情報提供

集落カルテは、

今後の『まちづくり活動』を進める
基礎資料 となるもの。

まずは試験的に数地区で実施し、ヒアリング項目等の見直しを行う。

今年度 試験的に実施する自治会を選定



栗山地域 17自治会 のうち、下記定義に当てはまる 5地区を実施

栗山地域での限界集落の定義

高齢化率	50%以上
世帯数	20世帯未満

集落の維持が難しくなり、
今後についての検討が
早急に必要な集落。

対象地区：青柳平・黒部・土呂部・若間・野門自治会

自治会長または民生委員にヒアリングを開始。(11月中旬)
集落の情報を把握し、『集落カルテ』を作成中。※今年度中

ヒアリング項目など内容を精査 → 全地区(17自治会)実施へ※次年度以降

集落から寄せられた課題(抜粋)



【移動支援の強化】

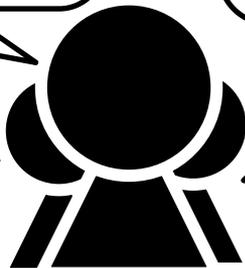
一番人口が多い65~80歳が、数年後、移動の問題を抱えていく。なるべくここに住んでいたい、買い物や病院通いへの“足”の問題が大きい。

【自治会の存続】

自治会長になる人がいない。(後継者問題)
また解散となった場合、集落の締め方がわからない。災害時はどうなるのか。行政に頼めること、できないことを明確化したい。

【集まる場について】

くろべ茶屋には行きづらい。昔のように自治会単位で集会所で実施して欲しい



【草刈り】

今の住民だけでは集落全体は不可能。
数年後は草刈りが出来なくなる。(高齢化)
動物の出没が多くなってきたと感じる。
熊のニュースを見るたびに怖くなる。

【ボランティア 受入れの限界】

以前のような受け入れ態勢が取れない
(体力的に難しい)

課題を整理し、どの組織(人)が
どのように解決していくかを検討する。

■ 次年度への目標は…



- ◆ 引き続き、月1回のお楽しみイベント
『くろべ茶屋 お茶飲み会』を開催します。
- ◆ 集落点検を **5地区** → **全17地区** を目標に実施。
栗山地域の『集落カルテ』を完成し、各組織に情報共有します。
- ◆ 栗山地域まちづくり協議会の活動を支援していきます。